



かもみーる通信

CONTENTS

- * トップマネジメントセミナー
- * メンター制度
- * 男女共同参画学協会連絡会
- * カモミール月曆
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 保育園たより

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）」



トップマネジメントセミナー

2016年10月27日（木）13時から、グランヴェール岐山 孔雀の間で、岐阜女子大学担当のトップマネジメントセミナーが開催されました。講師にNHK解説委員である早川信夫氏をお迎えし、「教育と多様性～教育改革の流れの中で」というテーマで講演していただきました。早川氏は、ダイバーシティの原点とは、「自己理解を通じて他者を理解すること」であり、それは決して「国民総動員」のようなものではなく、多様性を認め合うことによって達成されるものである、と論じました。「他者を知っているだろう」という危険な思い込みではなく、「何がわからないか」を知ることがその第一歩である、と述べていました。数値目標も大事だがそれだ



▲ 早川信夫氏

けでは不十分で、「女性活躍は大学改革・グローバル化とともに進められる人材育成の流れで実施されるべきであり、労働力として活躍することをただ期待されるだけでは不十分である、女性活躍に取り組む大学を政府もきちんと評価しており、『言い続けること・やり続けること』が、遠回りに見えて結局一番確実なダイバーシティ・女性活躍実現の手段である」と結ばれ、本事業の取り組みにおいて非常に有意義なセミナーとなりました。



カモミール月曆 (室長からのメッセージ)



副学長 (多様性人材活力推進担当) 林 正子

ご存知でしたか? 2016年、日本の男女格差 111位

10月26日付けで、世界経済フォーラム (WEF) が、世界144カ国の男女格差 (ジェンダー・ギャップ) を比較した2016年の報告書を発表しました。日本は何と111位。主要7カ国 (G7) の中では最下位で、昨年101位 (145カ国中) からさらに順位を下げています。ちなみに、1位アイスランド、2位フィンランド、3位ノルウェーと北欧諸国が上位を占め、東アジアでは中国が99位、韓国が116位となっています。

この男女平等の度合いを表わすジェンダー・ギャップ指数は、経済・教育・政治・健康の4分野で分析されており、日本の評価が低い要因としては、**経済活動への参加と機会**118位、**国会議員における男女比率**122位、**官民の高位職における女性比率**113位、**女性の専門的技術的労働者の比率**101位など、経済と政治の分野における女性の進出が遅れていることが挙げられています。



全学共通教育科目「ワーク・ライフ・バランス (男女共同参画論)」

10月14日 (水)、このような男女格差 (ジェンダー・ギャップ) (2015年実績) を始め、研究者に占める女性の割合の国際比較、専攻分野別に見た大学等の研究者の男女別割合、女性の年齢階級別労働力率 (M字カーブ) などのデータを用いて、全学共通教育科目「ワーク・ライフ・バランス (男女共同参画論)」 (水曜・1限) (コーディネーター: 相原征代 男女共同参画推進室特任助教) の授業を担当しました。(男性26名、女性16名が参加)

授業では、「社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待し、引き続き更なる努力を行うのは当然である」とされている「第4次男女共同参画基本計画」(2015年12月) や、「科学技術イノベーションの基盤的な力の強化」として「人材力の強化」が提唱され、「女性リーダーの育成・登用等を通じた女性の活躍促進、女性研究者の新規採用割合の増加 (自然科学系全体で30%へ)、次代を担う女性の拡大」が謳われている「第5期科学技術基本計画」(2016年度~2020年度) などについても提示しました。

併せて、教員の職種別女性比率の推移や、教員数及び女性比率の推移、教員の部局別女性比率、女性教員・女子学生の分野別比率など、岐阜大学の現状についてのデータを示すとともに、構成員のワーク・ライフ・バランス実現に向けての岐阜大学の取り組みについても紹介しました。

「今後 (在学中および卒業後) の自分自身の人生設計と「男女共同参画」がどのように関連する (可能性がある) か」について論じた小レポートとして、「今までは男性は仕事、女性は家庭という考えが浸透していたが、生産年齢人口が減少する今後は、男性も家事をし、女性も働くことが求められている。自分自身も、結婚したら配偶者としてしっかり話し合い、人生設計をしっかりとしていきたい」といった、受講生自身が「男女共同参画」を身近な課題として捉えていることが伺える意見が多く提出されました。

相原コーディネーターが提示する授業のテーマ「大学生こそ『ライフデザイン』——考えよう、ワタシの恋愛・結婚・子育て」に沿って、引き続き男女共同参画推進室員 (前室員を含む) が主な担当者となった授業が展開されます (「かもみーる通信」75号 [2016年9月] 参照)。

今後も、男女共同参画推進室の取り組みとして、日本の男女格差の現状を提示するのみならず、「ワーク・ライフ・バランス (男女共同参画論)」の理念を通して、一人ひとりの学生にとっての自分の幸せ、家族の幸せ、社会の幸せを考える機会の提供に努めたいと願っています。

メンター制度



(カモミール・キャリアアシスト制度)

岐阜大学では、メンター制度を設けています。ご相談の初回ではカモミール・カフェの担当教員が対応しますが、内容によっては、より専門の相談員に引き継ぐこともできます。もちろん秘密厳守です。「よろず相談窓口」として、どうぞお気軽にご相談ください。

利用方法

カモミール・カフェ（内線 3397）にご連絡ください。

カモミール・カフェにて、担当教員がメンター制度のご説明をし、相談内容をお伺いします。

相談内容から担当教員がメンターを選定・紹介し、相談日程を調整の上、ご連絡します。

カモミール・カフェ、他室にてメンターと面談をおこないます。

<カモミール・カフェOPEN時間：平日9：00～17：00>

- 1回の面談は30分～1時間程度です。
- 個別面談の他、グループ面談も受け付けます。
- 2回目以降はメンターと相談の上、面談の日程と場所を決めていただけます。
- E-mail・電話での相談方法、情報の管理方法や相談可能時間について、メンターとよくご相談ください。
- 悩みが深く体調不良が生じている場合や、セクハラ・アカハラ相談等の深刻な事例については、学内外の適切な相談窓口をご紹介します。

利用対象者

本学に在籍する女性研究者（教員、医員、研修医、研究員）、女子大学院生、研究者を志望する女子学部生。男性の研究者、大学院生、学部生で利用を希望する場合には、別途お問い合わせください。

本学が取り組むメンター制度とは

女性研究者および研究者を目指す女子学生が生活上、学業上、進路選択上の悩みを抱えた際に、同様の経験乗り越えてきた先輩研究者（メンター）に相談できる環境を提供することで、女性研究者の育成および研究者としてのキャリア形成を支援する制度です。

サイエンス夢追い人育成プロジェクト

(女子大学院生による出前講義)

10月5日（水）、池田中学校で出前講義をおこないました。高校ではすでに何度も実施していますが、中学校への出前講義は2年ぶりになります。昨年も講師を担当し好評を得た浅井千由希さん（応用生物科学研究科生産環境科学専攻 修士2年）に、今回の中学生向けの講師として白羽の矢が立ちました。「進路選択と大学生活」と題し、自身の研究テーマである森林生態系の紹介や、自分の進路選択の経緯について説明し、将来を考える中学生にとって参考になる講義となりました。



男女共同参画学協会連絡会シンポジウム

10月8日（土）、お茶の水女子大学において、男女共同参画連絡会シンポジウムが開催されました。今年度は「国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか？」をテーマに、2つの分科会（午前）と、全体会議（午後）がおこなわれました。

午前の部では、女性を採用や昇進から無意識に排除する傾向（「Unconscious bias」）への対処が、ダイバーシティを推進するうえで重要だとアメリカの大学で認識されている一方、日本ではあまり注目されていないことが指摘され、このバイアスに対処する研修を人事担当者および関係者に義務化することが提案されました。

午後の全体会議では、まず、文部科学省科学技術・学術政策局長の伊藤洋一氏から、岐阜大学も採択されている「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」について、女性研究者の活躍促進に向けて積極的に取り組んでいることが紹介され、国の政策としての女性研究者支援がおこなわれていない韓国の例なども挙げられ、活発な議論が展開されました。

第14回 男女共同参画学協会連絡会シンポジウム

日時 2016年10月8日(土) 10:00-17:45

場所 お茶の水女子大学 共済講義棟1号館2号館 (〒112-8601 東京都文京区大塚2-1-1)

主催 男女共同参画学協会連絡会

共催 お茶の水女子大学

後援 大塚町教育委員会、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、日本学術会議、科学技術振興機構、国立女性教育会館

国際的にみて日本の研究者における女性割合はなぜ伸びないのか？

プログラム

午前の部 10:00-12:30 共済講義棟2号館101-102
分科会①「Unconscious biasについて考える」(日本生化学会)
分科会②「女性のための質の創設—その意義と効果を考える」(化学工学会)

昼の部 12:30-14:00 ポスター会場 共済講義棟1号館204-205、2号館と連絡ポスターセッション

午後の部 14:00-17:45 共済講義棟2号館201 (インテグリティホール)
全体会議「日本と世界の研究者・技術者—これまでの支援と女性比率」
パネル討論「まだまだ低い女性比率—伸ばすために何ができる？」
分科会報告

懇親会 18:00-20:00 生協食堂2F「マルシェ」
参加費 2,000円(資料代を含む)
※学生の参加は無料(資料代のみなし)
懇親会費 4,000円

お問い合わせ先
総務利用の希望者は10月29日まで以下アドレスにご連絡ください(印刷用紙もご用意ください)。
第14回男女共同参画学協会連絡会事務局 symposium2016@djnenrakuai.org
http://www.djnenrakuai.org

保育園たより



10月8日（土）うんどう会

いっぱい練習したから上手にできたよ！

船みたいで楽しい～！



10月19日（水）
いもほり



さつまいもは、土の中のできるんだね！

おもいがたくさん出てきた！！

10月31日（月）
ハロウィン



優しい笑顔の伊藤人材開発部長に園児たちもにっこり♪

温かく迎えてくださった森脇学長と記念撮影♪

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

